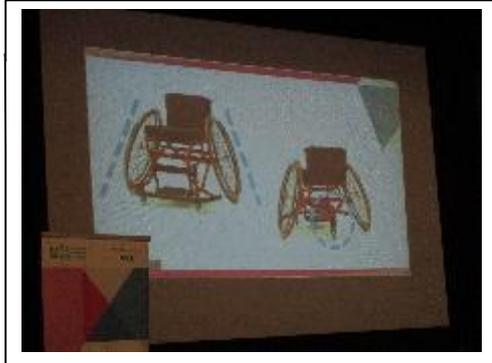


5 取組内容

○障害ってなんだろう



- ・障害者とのコミュニケーションの取り方等（車いすクイズなど、クイズ形式で）

☆体験

○グループワーク



- ・グループで輪になって普通にじゃんけん。全員目を閉じてじゃんけん。目を開ける人・閉じる人半分ずつでじゃんけん



- ・グループ縦列になり、お題のスポーツをジェスチャーで伝言ゲーム。

☆ワークまとめ ○周りを笑顔にできる人に



- ・パラリンピック競技を「映像で見る。
- ・あすチャレ！宣言
- ・銀メダルを触ってみよう

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・あすチャレ！ジュニアアカデミーの受講により、子どもたちの興味がパラリンピックに向き始めた。 ・職員の中でも「実際にパラリンピックの競技を見てみたい。」という声があがっている。 ・子どもたちは、受講の中で教えていただいた、「自分だけでなく、周りの人を笑顔にすることが大切」「他喜力」「未来をばかにしない」「あきらめない顔晴る（がんばる）」などの言葉に刺激を受け、自分の目標をもつことができた。 ・本物のメダリストに会えたこと、その言葉の重みをずしっと感じていた。 ・講演を聞いてから、オリパラの書籍を各教室に配置したため、興味をもって読む子どもが多くいた。
7実践において工夫した点（事業の特色）	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方には講師の紹介を掲示し知ってもらう工夫をした。 ・子どもたちには、講師が敢えてメダリストであること等内緒にして、当日の出会いをサプライズ的に演出した。 ・講演後、3年生以上の教室に、購入していただいた『心に残るオリンピック・パラリンピックの読み物』を学級文庫として置いた。手近なところに、オリパラに関する読み物があるという環境を工夫した。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は、町の指定研究発表と重なってしまい、思うような実践ができなかった。どちらかという、担当からの投げかけで動いてもらう、実践してもらおう形だった。 ・小山町は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの会場となる。（自転車競技（ロードレース））須走地区は、本通りを3回も通るということで、児童に身近な題材であるが、それを今回の講演会と結びつけることができなかった。実際に我が町で行われる競技についても詳しく学びたい。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、学年を指定して動いてもらう方向へと考えている。子どもたちが知りたい！！やってみたい！！ということを広げていきたい。 ・町のオリンピック・パラリンピック推進局にも協力を要請し、工夫した取り組みを行っていく。 ・できれば、講演会だけでなく、子どもたちが実際にパラスポーツ等に触れる体験ができるようにしていきたい。